

令和2年度 第1回

全国福祉高等学校長会主催

社会福祉・介護福祉検定 指導要項・関係書類集

全国福祉高等学校長会 資格検定部

社会福祉・介護福祉検定 ネット事務局

Email : mail@syakaifukukentei.jp

目 次

- 1 まえがき
- 2 令和2年度 全国福祉高等学校長会主催 社会福祉・介護福祉検定の指導要項
P 1
- 3 令和2年度 全国福祉高等学校長会主催 社会福祉・介護福祉検定関係書類集
P 6

ま え が き

日本の高等学校教育において「福祉」が芽生え始めたのは、「平成」という新たな年号が世に示される2～3年ほど前のことでした。その後「平成」のスタートと共に、高等学校における「福祉」教育は、全国で次々と産声を上げてきました。それからわずか四半世紀ほどの間に、想像を超える勢いで日本の高齢化は進み、今日では「福祉」「介護」という言葉を日常生活で耳にしない日が無いほどとなりました。「福祉」教育の重要性は、まるで高齢化に比例するかのように肩を並べてその重みを増してきています。

全国の高等学校で「福祉」を学ぶ多くの生徒達は、これからの高齢化を陰で支えてくれる貴重で力強い人材そのものとなります。彼ら個々の学びのスタイルは幾つかに分かれ違いもありますが、「福祉」を学ぶという根本的な意識と姿勢は、何ら変わるところはありません。彼らの学びに一つの指針を設けることは、より大きな意識の高揚と確かなスキルアップにつながり、ひいては、より多くの優れた人材育成につながるものと考えます。

「社会福祉・介護福祉検定」は、まさに彼らの学びの指針として、平成27年度には3級と4級を設け、28年度・29年度は2級・3級・4級、そして平成30年度よりは1級・2級・3級・4級と体系が整えられ、令和2年度はスタート以来6年目を迎え、進化・発展が続いております。

現在新型コロナウイルス感染症予防のため、学校現場では諸々の困難の中で授業等が行われていることとお察し申し上げます。各高等学校におかれましては、本検定の意義・目的を充分ご理解いただき、今回も「福祉」を学ぶより多くの生徒たちへご推奨していただければ幸いです。

全国福祉高等学校長会
理事長 高橋 福太郎

社会福祉・介護福祉検定 指導要項

全国福祉高等学校長会主催 社会福祉・介護福祉検定概要

1 主催者

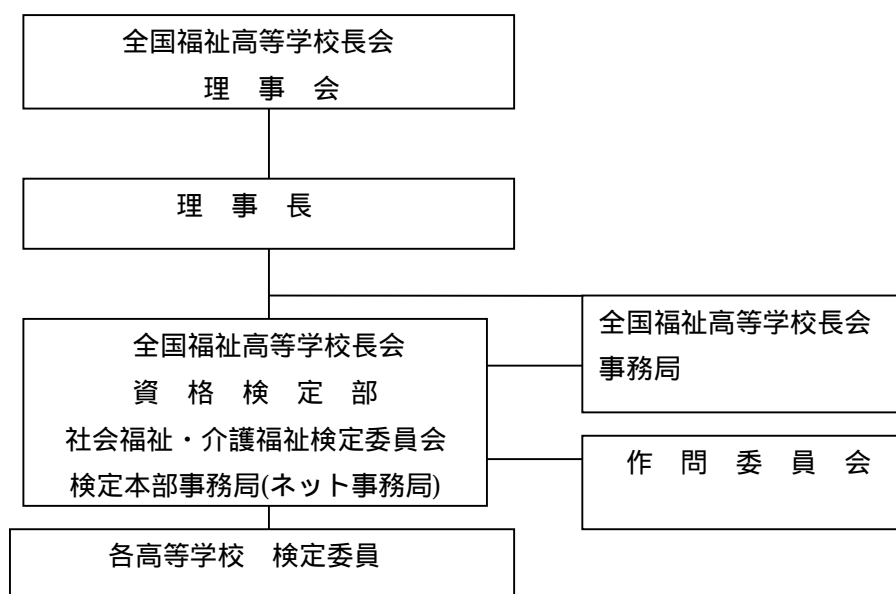
主 催 全国福祉高等学校長会

2 目 的

福祉を学ぶ高校生の意識を高め、社会福祉及び介護福祉に関する知識及び技術の向上を図るため、検定を実施する。

このことにより、社会福祉及び介護福祉の増進を図る。

3 組 織



受験者は高等学校において、教科「福祉」及びこれと同等の内容を学ぶ生徒

4 検定実施要項

	4 級	3 級	2 級	1 級
受験資格	受験者は高等学校において、教科「福祉」及びこれと同等の内容を学ぶ生徒			
各級のねらい	福祉の基本的知識を確認し、教科「福祉」の「社会福祉基礎」及び「介護福祉基礎」の内容を理解しているかどうかを確認するための検定。	介護職員初任者研修レベルであり、介護職員初任者研修の修了試験と同程度の知識を理解しているかどうかを確認するための検定。 教科「福祉」の教科書「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」「生活支援技術」「こころとからだの理解」から出題する。	介護職員実務者研修以上（福祉に関する科目が20単位から34単位程度）を教育課程においている学校、もしくは介護福祉士国家試験受験校における学びを確認するための検定。 教科「福祉」の教科書「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」「生活支援技術」「こころとからだの理解」「コミュニケーション技術」「介護過程」から出題する。	介護福祉士国家試験受験校等が3年間の学びの確認ができる検定。 介護福祉士国家試験と同レベルの内容であり、医療的ケアも含まれる。 【前半】 人間の尊厳と自立 人間関係とコミュニケーション 社会の理解 介護の基本 コミュニケーション技術 生活支援技術 【後半】 介護過程 発達と老化の理解 認知症の理解 障害の理解 こころとからだのしくみ 医療的ケア 総合問題
検定料	500 円	500 円	500 円	800 円
問題数	2 択 150 問	2 択 150 問	3 択 150 問	5 択 125 問
時 間	50 分	50 分	80 分	220 分 (前半 110 分・後半 110 分)
検定委員	自校の教科「福祉」の教員もしくは関係教科の教員			
検定会場	各 学 校			

5 検定実施上の注意

(1) 一般的なもの

試験会場内には実施の級に関する展示物は一切しない。

検定内容の質問には答えない。

受験票を机上の指示された位置に置かせる。

検定委員ならびに補助委員であることが識別できるような工夫をする。

検定会場または検定控え室に受験番号順に着席させ、必要な準備をさせる。

検定委員は問題用紙、その他必要なものを検定会場に持参し、配布する。

「はじめてください」の合図で開始する。

受験中に地震等やむを得ない理由で、検定を一時中断する事態が生じた時は、検定委員がその理由を判断して対処する。

中断した場合にはその時間を計り、検定時間に上乗せする。

「終わりにしてください。」の合図で終了とする。

(2) 検定試験の実施上の注意

全国一斉の期間に厳正に行う。やむを得ない事由で実施期間を変更する場合には、事前に検定事務局と協議する。

6 試験の仕方

(1) 各自の学びの状況に応じた級から受験できる。今年度より1級を実施する。

(2) 検定試験の追試験について

追試験は行わない。

7 評価の仕方

(1) 一般的なもの

評価にあたっては、「8 合格基準」を参照して適正に評価する。

8 合格基準

可否の判定は、以下のとおりとする。

1級	5択 125問(医療的ケアを含む)	6割程度 75点以上
2級	3択 150問(医療的ケア含まず)	7割程度 100点以上
3級	2択 150問	7割程度 100点以上
4級	2択 150問	7割程度 100点以上

9 1～4級の試験範囲

4級の試験範囲

実教出版「社会福祉基礎」、「介護福祉基礎」の内容から150問(2択)100点以上が合格。

教科書「社会福祉基礎」	約75問
教科書「介護福祉基礎」	約75問

3級の試験範囲

実教出版「社会福祉基礎」、「介護福祉基礎」、「生活支援技術」、「こころとからだの理解」150問(2択)100点以上が合格。

職務の理解	約05問
介護における尊厳の保持・自立支援	約05問
介護の基本	約15問
介護・福祉サービスの理解と医療との連携	約25問
介護におけるコミュニケーション技術	約10問
老化の理解	約10問
認知症の理解	約15問
障害の理解	約15問
こころとからだのしくみと生活支援技術	約50問

2級の試験範囲

実教出版「社会福祉基礎」、「介護福祉基礎」、「生活支援技術」、「こころとからだの理解」、「コミュニケーション技術」、「介護過程」から出題する。150問(3択)100点以上が合格。

教科書「社会福祉基礎」	約25問
教科書「介護福祉基礎」	約25問
教科書「生活支援技術」	約40問
教科書「こころとからだの理解」	約35問
教科書「コミュニケーション技術」	約15問
教科書「介護過程」	約10問

1級の試験範囲

介護福祉士国家試験受験校等が3年間の学びの確認ができる検定として、社会福祉・介護福祉検定委員会が作成する介護福祉士国家試験と同レベルの内容であり、医療的ケアも含まれる。125問(5択)75点以上が合格。

10 合格について

1級から4級については試験の得点が合格基準に達した時に合格とする。

11 合格証書について

各級を受験して合格した者については、その級の合格証書を全国福祉高等学校長会事務局より各高等学校検定委員に送付する。

関係書類集

全国福祉高等学校長会主催

令和2年度 社会福祉・介護福祉検定実施要項

主催 全国福祉高等学校長会

1 目的

福祉を学ぶ高校生の意識を高め、社会福祉及び介護福祉に関する知識及び技術の向上を図るため、検定を実施する。

このことにより、社会福祉及び介護福祉の増進を図る。

2 目標

社会福祉及び介護福祉の増進に寄与する創造的な能力と実践的な態度を身につける。

介護福祉援助活動にて、活用するコミュニケーションの能力と態度を身につける。

介護を適切に行う知識と技術を身につける。

3 資格概要

全国福祉高等学校長会主催社会福祉・介護福祉検定は、1級から4級までを実施する。

検定の1級は、介護福祉士国家試験と同レベルの内容であり、医療的ケアも含まれる。

介護福祉士国家試験受験校等が3年間の学びを確認する

検定の2級は、介護職員実務者研修以上（福祉に関する科目が20単位から34単位程度）を教育課程においている学校、もしくは介護福祉士国家試験受験校における学びを確認する。

検定3級は、介護職員初任者研修レベルであり、介護職員初任者研修の修了試験と同程度の知識を理解しているかどうかを確認する。

検定4級は、すべての高校生に必要な教養としての基礎的な福祉の内容で、将来の進路への動機付けとなることを目指す。

4 検定受験資格

受験者は高等学校において、教科「福祉」及びこれと同等の内容を学ぶ生徒

5 検定料

4級 500円 3級 500円 2級 500円 1級 800円

6 受験の仕方

各自の学びの状況に応じた級から受験できる。

7 申込期間及び実施期間及び合格報告期限

年 1 回実施の受験申込期間は、10 月 1 日～10 月 31 日とする。

年 1 回実施の受験期間は、12 月の第 2 から第 3 週に実施する。(4 級から 1 級まで)

回	級	受験申込期間	筆記試験日	合格発表	合格報告期限
1	すべての級	令和 2 年 10/1(木)～ 10/31(土) 指定口座への振込後に申し込むこと。	令和 2 年 12/6(日)～ 12/13(日)の期間で 実施する。	1 月中に 各学校の 状況によ り実施。	令和 3 年 1/8 (金) (合格証書は 2 月中旬から発送 予定。)

(注) 追試験は行わない。

指定口座への振込後に、メールにて申込を行う。申込書にも、振込年月日を記載する欄に記入をすること。

1～4 級を実施する学校は、実施期間内に複数の級を実施することができる。ただし、1つの級を 2 日間以上にわたって実施することはできない。(但し、1 級の前半・後半を分ける場合を除く)

8 検定会場

(1) 4 級・3 級・2 級・1 級いずれも、各実施校とする。

9 申し込み方法

(P12「令和 2 年度第 1 回 社会福祉・介護福祉検定に関する事務手続きの流れについて」を参照。)

- (1) 受験希望者は、申込票・受験票及び領収書(様式 1 - 1、1 - 2)に記入し、検定料を添え各学校に申込み、各学校は領収書を受験希望者へ渡すこと。納入された検定料は、返金しない。
- (2) 受験申込前に、検定料を速やかに全国福祉高等学校長会事務局の指定口座に振込みを行う。検定料は申込手数料を引いて振り込んでください。なお、申込手数料を引かずに振り込んだ場合は返金しません。その後、受験申込を行う。(申込日を忘れずに記入すること。)
- (3) 検定料を指定口座へ振り込み後、各学校では「受験者名簿」(様式 2 - 1、2 - 2、2 - 3)を作成し、受験者へ受験番号を記入した受験票を配布する。各学校から受験申込書・振込書(様式 3)を速やかに検定本部事務局(社会福祉・介護福祉検定 ネット事務局のアドレス)にメールにて報告する。

- (4) 実施後、「合格者名簿」(様式2-1、2-2、2-3)を作成し、各学校で保管する。
また、報告に関しては本要項の「15 合格者の判定及び合格者の報告」で定める。

10 各級概要

(1) 1級

介護福祉士国家試験受験レベルであり、3年間の学びを確認する。社会福祉・介護福祉検定委員会が作成する介護福祉士国家試験と同レベルの内容であり、医療的ケアも含まれる。125問(5択)6割程度を合格ラインとする。

(2) 2級

介護職員実務者研修以上(福祉に関する科目が20単位から34単位程度)を教育課程においている学校、もしくは介護福祉士国家試験受験校における2年次修了、3年次前半の学びを確認する。また、筆記試験(3択)は150問とし、7割程度を合格ラインとする。試験問題については、教科「福祉」の教科書「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」「生活支援技術」「こころとからだの理解」「コミュニケーション技術」「介護過程」から出題する。

(3) 3級

介護職員初任者研修レベルであり、介護職員初任者研修の修了試験と同程度のものとする。また、筆記試験(2択)は150問とし、7割程度を合格ラインとする。試験問題については、教科「福祉」の教科書「社会福祉基礎」「介護福祉基礎」「生活支援技術」「こころとからだの理解」から出題する。

(4) 4級

福祉の基本的知識を確認し、教科「福祉」の「社会福祉基礎」及び「介護福祉基礎」の内容を理解しているかどうかを確認する。筆記試験(2択)は、150問とし、7割程度を合格ラインとする。試験問題については教科「福祉」の教科書「社会福祉基礎」及び「介護福祉基礎」から出題する。

11 実施回数

令和2年度は、4級・3級・2級・1級ともに12月1回のみの実施とする。

12 試験の実施時間

- 1級 試験受験時間を220分とする。(前半110分・後半110分)2回に分けて実施可
- 2級 試験時間を80分とする。
- 3級 試験時間を50分とする。
- 4級 試験時間を50分とする。

13 令和2年度スケジュール

令和2年度 社会福祉・介護福祉検定実施予定	
4月	
5月	地区代表説明会（理事会・学科主任等代表者会議） 中止
6月	
7月	
8月	教員実施説明会（全国大会 大阪大会） 次年度に延期
9月	
10月	申込期間 10月1日（木）より10月31日（土）まで
11月	問題用紙・解答用紙等印刷（実施校にて）
12月	筆記試験日 12月6日（日）～12月13日（日） 12月14日（月）に解答をメールで通知予定。
1月	合格発表 各学校に一任。合格報告期限1月8日（金）まで。
2月	合格証書発送予定。

14 問題及び解答等の送付

- (1) 「指導要項・関係書類集」については、令和元年度は9月に検定本部事務局（ネット事務局）より各学校へ郵送する予定である。
- (2) 検定本部事務局（ネット事務局）では、指定口座振込および受験申込終了確認後、「試験問題・解答用紙」等を検定試験およそ1か月前に実施校にメールにて一斉送信する。
- (3) 検定本部事務局（ネット事務局）では、「解答」を検定試験期間終了後、速やかに各実施校にメールで送付する。また、ホームページにも後日掲載する。

15 合格者の判定及び合格者の報告

- (1) 筆記試験および実技試験において厳正公正に判定し、それぞれの得点が合格基準に達した場合を合格とする。なお、受験者・合格者名簿（様式2-1、2-2、2-3）は各学校でデータ保管を行う。
- (2) 合格者の報告は、各学校で作成した受験者・合格者名簿（様式2-1、2-2、2-3）と合格者及び合格証書必要枚数の報告（様式4）を検定本部事務局（ネット事務局）にメールで提出する。提出期限は令和3年1月8日（金）とする。

16 合格証書について

- (1) 検定事務局（ネット事務局）は、合格数及び合格証書必要枚数の報告（様式4）と受験者・合格者名簿（様式2 - 1、2 - 2、2 - 3）を確認し、実施校に合格証書を郵送する。
- (2) 各実施校は、合格証書に証書番号、氏名等を記入し、合格者に授与する。（証書番号・時期は各校に一任する。）
- (3) 合格証書が紛失した場合において、証書の再発行は行わない。

17 会議の開催等

- (1) 作問委員会（問題作成等）における会議は、必要に応じて随時開催する。作問委員は全国福祉高等学校長会各地区理事の推薦によって理事長が委嘱する。
- (2) 社会福祉・介護福祉検定に関することは、第1回理事会および学科主任等代表者会議および全国福祉高等学校長会総会・研究協議会並びに福祉担当教員等研究協議会等の折に、必要に応じ協議する。

18 その他

- (1) 社会福祉・介護福祉検定の各事項については全国福祉高等学校長会理事会の決定を受け、資格検定部と作問委員（別途委嘱）にて運営を行う。
- (2) 検定の実施及び指導にあたっては、必ず「指導要項・関係書類集」や「実施上の注意」を確認すること。

令和2年度 第1回社会福祉・介護福祉検定の申込に関する留意事項

- (1) 社会福祉・介護福祉検定の検定本部事務局（社会福祉・介護福祉検定 ネット事務局）への申し込み方法について
昨年度同様ですが、先に必ず検定料を指定の口座に振り込み後に申込をお願いします。
今年度の受験申込も、昨年同様メールでお申し込みください。
（電話、ファクシミリや郵送では受付けておりませんので、ご協力をお願いします。）
様々なお問い合わせについても同様にメールをお願いします。
- (2) 検定用学校番号の記入をお願いします。
学校番号がない場合は、空欄のまま申し込んでください。（受験確定時に番号を確定します。）後ほどお伝えします。よろしく願いいたします。
- (3) 令和2年度各種報告様式のフォーマットは、社会福祉・介護福祉検定のホームページからダウンロードできます。Email からも送信いたしますので、必要な場合はメールでお申し込みください。
- (4) メールの件名に次の順で記入してください。学校番号、学校名と件名の順でお願いいたします。
例： 件名 22 - 5 西陵 受験申込・振込書送付
- (5) ファイル名にも学校番号、学校名を入れて送付してください。

令和2年度 社会福祉・介護福祉検定に関する事務手続きの流れについて

	検定日程	検定実施校	検定実施校から検定本部事務局(ネット事務局)へ	検定本部事務局(ネット事務局)より検定実施校へ
8月		送付された書類の確認 第1回検定試験の周知		令和2年度社会福祉・介護福祉検定実施校へ「ちらし」「指導要項・関係書類集」の郵送。
10月	第1回申し込み期間 10月1日(木)～ 10月31日(土)	申込票・受験票及び領収書【様式1-1、 1-2】により第1回検定試験希望者数の集計・検定料の確認 受験者・合格者名簿【様式2-1、2-2、2-3】作成 受験者へ受験票の記入・配布 検定料を指定口座へ振込 検定受験申込書 【様式3】の作成(振込日を記入)	第1回検定受験申込書 【様式3】をメールで申込。	
11月		受験者・合格者名簿 【様式2-1、2-2、2-3】の整理 問題用紙、解答用紙の印刷・保管		各校からの申込および振込みを確認後、およそ1か月前に問題用紙、解答用紙をメールで一斉送付。
12月	12月6日(日)～ 12月13日(日) の期間に各校において実施する。 第1回社会福祉・介護福祉検定(1級・2級・3級・4級)	試験監督及び採点 受験者・合格者名簿 【様式2-1、2-2、2-3】の整理及び採点結果等記入 合格者数及び合格証書必要枚数【様式4】の整理	左記・を記入の上、メールで検定本部事務局(ネット事務局)へ提出する。 締切 1月8日(金)	試験期間終了後に解答をメールで送付。 後日ホームページに解答を掲載。
1月	1月中に合格発表。時期は各学校に一任。	受験者・合格者名簿をデータとして保管する。 合格発表を行う。		各校からの合格者数及び合格証書必要枚数の報告【様式4】と受験者・合格者名簿【様式2-1、2-2、2-3】をメールで報告する。
2月		合格証書発送予定。 合格した生徒へ合格証書授与を行う。		合格証書を郵送。